

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】令和5年6月15日(2023.6.15)

【公開番号】特開2022-69393(P2022-69393A)

【公開日】令和4年5月11日(2022.5.11)

【年通号数】公開公報(特許)2022-082

【出願番号】特願2021-149007(P2021-149007)

【国際特許分類】

E 06 B 5/16 (2006.01)

10

【F I】

E 06 B 5/16

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月7日(2023.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マトリックス成分、熱膨張性黒鉛及び無機充填材を含有し、

60 で1000時間水に浸漬した際の溶出率が3%以下である防火設備用熱膨張性耐火材。

【請求項2】

前記マトリックス成分が、クロロプレンゴム、スチレンブタジエンゴム、ブチルゴム、ウレタンゴム、及びPVCからなる群から選択されるいづれか1種以上を含有する請求項1に記載の防火設備用熱膨張性耐火材。

【請求項3】

リン成分を実質的に含有しない請求項1又は2に記載の防火設備用熱膨張性耐火材。

30

【請求項4】

前記熱膨張性黒鉛の含有量が15~60質量%である請求項1~3のいづれか1項に記載の防火設備用熱膨張性耐火材。

【請求項5】

前記無機充填材の含有量が3~50質量%である請求項1~4のいづれか1項に記載の防火設備用熱膨張性耐火材。

【請求項6】

前記無機充填材が、金属酸化物、金属炭酸塩、金属水酸化物及び亜リン酸金属塩からなる群から選択される1種以上を含有する請求項1~5のいづれか1項に記載の防火設備用熱膨張性耐火材。

40

【請求項7】

請求項1~6のいづれか1項に記載の防火設備用熱膨張性耐火材が搭載された防火設備。

【請求項8】

ビル及びマンションの少なくともいづれかに用いられる請求項7に記載の防火設備。

【請求項9】

前記防火設備が、排水経路を備え、

前記防火設備用熱膨張性耐火材が、加熱により熱膨張すると前記排水経路を塞ぐように配置される請求項7又は8に記載の防火設備。

【請求項10】

50

前記防火設備が、排水孔を備え、

前記防火設備用熱膨張性耐火材が、加熱により熱膨張すると前記排水孔を塞ぐように配置される請求項7～9のいずれか1項に記載の防火設備。

10

20

30

40

50